An architectural sketch of a city layout. A river flows through the center, with various buildings and structures on either bank. Some areas are highlighted with green circles, possibly indicating parks or specific development zones. The sketch is done in brown lines on a white background.

資料

エキサイトよこはま22

第3回 懇談会

平成24年5月22日

議題（１）

国際社会が認める災害安全性の実現

「国際社会が認める災害安全性の実現」

■ 『災害安全性の実現』に関連した主なトピック

- ・「総合的な震災対策の考え方」を公表（H23.5）
- ・「津波からの避難に関するガイドライン」の策定（当初：H23.8、改訂：H24.4）
- ・「帰宅困難者一時滞在施設」「津波避難施設」を指定（第1弾：H23.9、第2弾：H24.3、第3弾：H24.4）
- ・市内約7,400箇所に海拔標示を設置（H23.12～H24.3）
- ・平成23年度 横浜駅周辺混乱防止対策訓練実施（H24.3）
- ・「津波浸水予測図」を公表（神奈川県）（H24.3）
- ・「横浜市帰宅困難者一時滞在施設検索システム」の運用開始（H24.4）
- ・「都市再生安全確保計画制度」の創設（国土交通省）（H24.4）
- ・「津波避難対象区域図」を公表（H24.4）
- ・「防災計画（震災対策編）」の修正（H24年度内予定）

「国際社会が認める災害安全性の実現」の取組み1

<取組み1> 防災インフラ整備の推進

○治水安全度向上のための取組み

- ・ 河口部改修：護岸整備中
- ・ 鶴屋橋架け替え：詳細設計実施（H24工事着手）
- ・ 下水道整備：センターゾーン内の対策検討【H24年度の取組み】
- ・ 上記取組みの継続実施（100ミリ/h安心プラン等も導入検討）

○高潮・津波被害に対するリスクの明確化

- ・ 測量等による現地確認
- ・ 災害リスクに対する課題整理【H24年度の取組み】
- ・ ハード・ソフト対策の整備水準の設定

○ライフライン・エネルギー対策

- ・ ライフラインの耐震対策状況等のヒアリング及び新規開発における代替機能の誘導検討
- ・ 面的エネルギーネットワーク整備の考え方の整理【H24年度の取組み】
- ・ 面的エネルギーネットワークの検討

○民間建築物の耐震化の促進

- ・ 駅周辺の建物状況を確認（築年数等）
- ・ 耐震診断及び改修の補助率の引き上げ等【H24年度の取組み】
- ・ 補助制度の利用を促進

帷子川河口部改修事業



鶴屋橋架け替え事業



「国際社会が認める災害安全性の実現」の取組み2

＜取組み2＞ 地域防災機能の強化

○避難動線の確保

- ・デッキレベルの歩行者動線強化の検討
【H24年度の取組み】
- ・駅周辺部の避難計画の検討
- ・インフラ基本計画への位置づけ

○新規開発における防災機能の整備誘導ルールの検討

- ・誘導項目の整理（※）
- ・防災機能のルール素案等の作成
【H24年度の取組み】
- ・防災機能誘導ルールのガイドラインへの反映

○既存施設における取組み及び情報・物資等を提供するための機能強化

- ・「帰宅困難者一時滞在施設」・「津波避難施設」の指定
- ・帰宅困難者用の備蓄の拡充
- ・緊急速報「エリアメール」の導入
【H24年度の取組み】
- ・「帰宅困難者一時滞在施設」・「津波避難施設」の指定
拡充等の施策を推進

※防災機能の誘導項目（案）

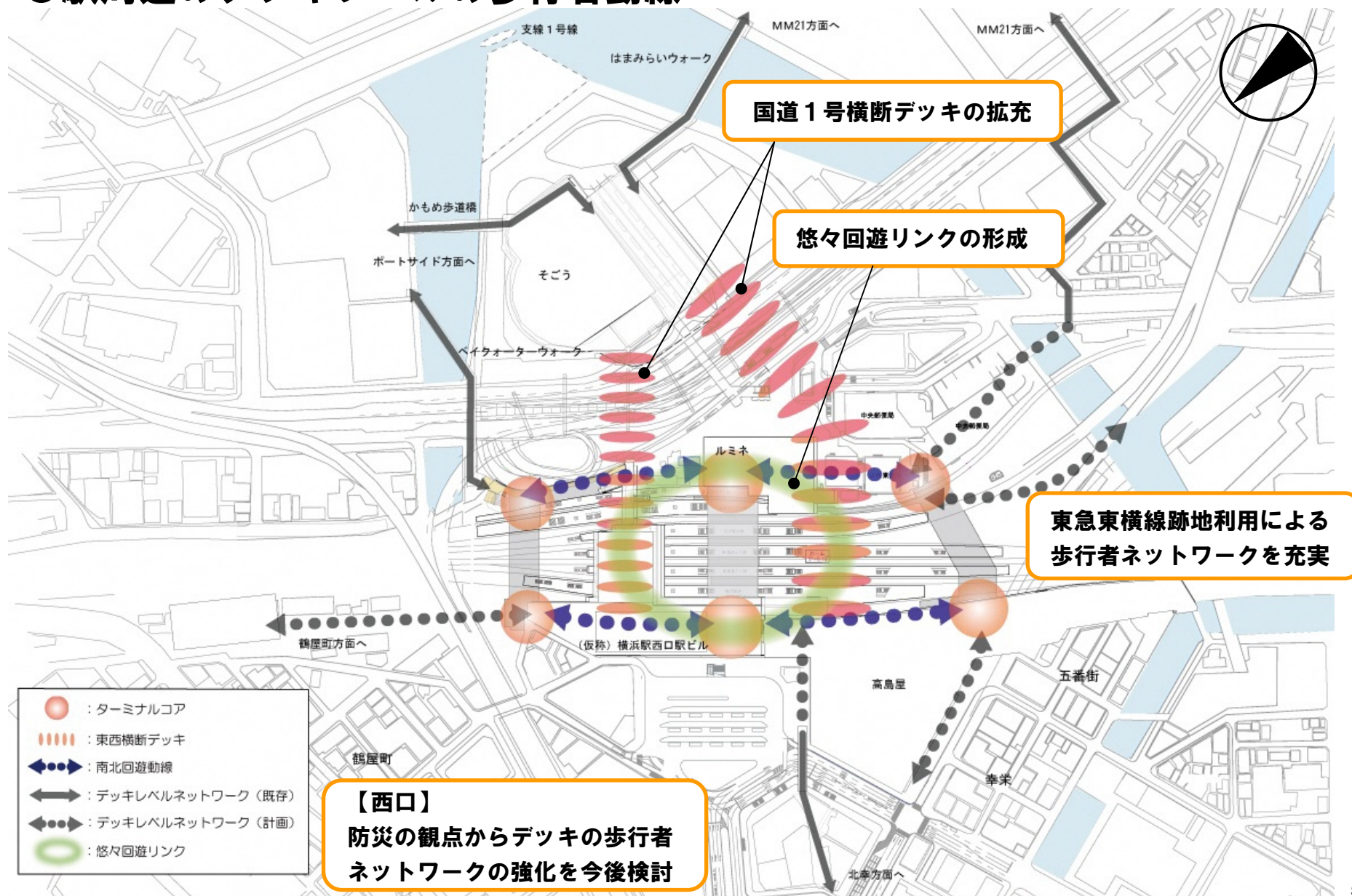
- 滞留スペース
- 帰宅困難者収容スペース
- 耐震トイレ・備蓄
- 情報受伝達システム
- ライフライン代替機能
- 津波避難対応

「都市再生安全確保計画制度」の創設を受けて、H24年度に対応を検討

「国際社会が認める災害安全性の実現」の取組み2

●駅周辺のデッキレベルの歩行者動線

※イメージ図であり、具体的な位置・規模を示すものではありません。



「国際社会が認める災害安全性の実現」の取組み3

<取組み3> 帰宅困難者等支援の強化

○地域の対応ルールの検討

- ・「地域の対応ルール（案）」を作成
- ・「地域の誘導マップ（案）」を作成
- ・ H24.3.1横浜駅周辺混乱防止対策訓練の実施（津波避難誘導訓練）

【H24年度の取組み】

- ・ 地域の対応ルールの確定及び運用の検討

○帰宅困難者・徒歩帰宅者支援

- ・ 帰宅困難者一時滞在施設検索システムの運用開始
- ・ 帰宅支援ステーションの拡充

【H24年度の取組み】

- ・ 引き続き帰宅困難者等の支援の施策を推進

H24.3.1

横浜駅周辺混乱防止対策訓練の様子



西口：沢渡中央公園への避難



東口：横浜新都市ビル 鐘の広場への避難

議題（２）

世界が選ぶ国際交流都市の実現

「世界が選ぶ国際交流都市の実現」

■『国際交流都市の実現』に関連した主なトピック

・ 特定都市再生緊急整備地域指定（H24.1）

【特定都市再生緊急整備地域における国の主な支援内容】

- 道路の上空利用、下水の未利用エネルギー活用の規制緩和
- 大臣認定を受けた優良な民間都市開発プロジェクトに税制支援・金融支援を実施
- 都市拠点インフラの整備に係る予算支援の創設 他

・ 「環境未来都市」選定（H23.12）

【横浜市の主な提案内容】

- CO₂の排出が大きく削減されるスマートシティの市域全体での実現
- 郊外部の暮らしの快適さと中心部の魅力・利便性が一体的に享受できるコンパクトなまちづくり
- アジアにおける人・モノ・情報拠点都市を目指した文化芸術振興・MICE誘致 他

- ・ 京浜臨海部「ライフイノベーション国際戦略総合特区」選定（H23.12）と合わせ全国唯一のトリプル指定
- ・ 第5回アフリカ開発会議（T I C A D V）の横浜開催が決定（H24.1）

■エキサイトエリア内の動き

- ・ 横浜都心・臨海地域都市再生緊急整備協議会の発足（H24.3）
- ・ （仮称）横浜駅西口駅ビル計画の着工前のアセス手続き終了（H23.12）
- ・ 浮棧橋の設置（H23.11）

「世界が選ぶ国際交流都市の実現」の取組み1

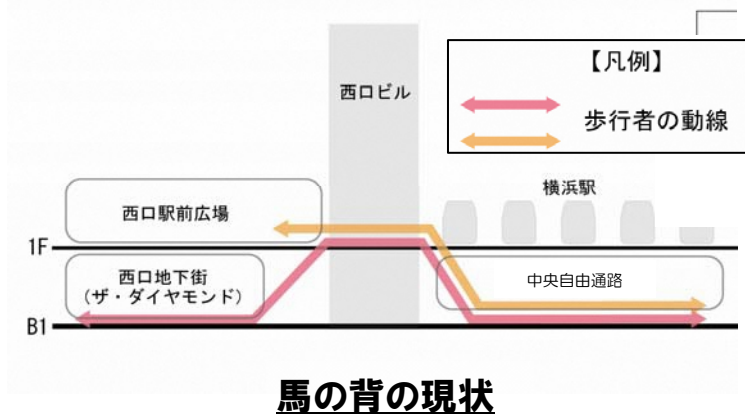
<取組み1> 横浜駅機能の強化

○駅や周辺の利便性向上及びユニバーサルデザインの推進

- ・ 悠々回遊リンク・国道1号横断デッキ・ターミナルコア・支線1号線の検討
- ・ 馬の背の解消、西口・きた西口駅前広場の再編、鶴屋橋の架け替えの検討

【H24年度の取組み】

- ・ 上記計画を含めた駅構想図・インフラ基本計画の作成
- ・ 外国人来街者ニーズの把握調査等を踏まえた導入機能及び運用方法の検討



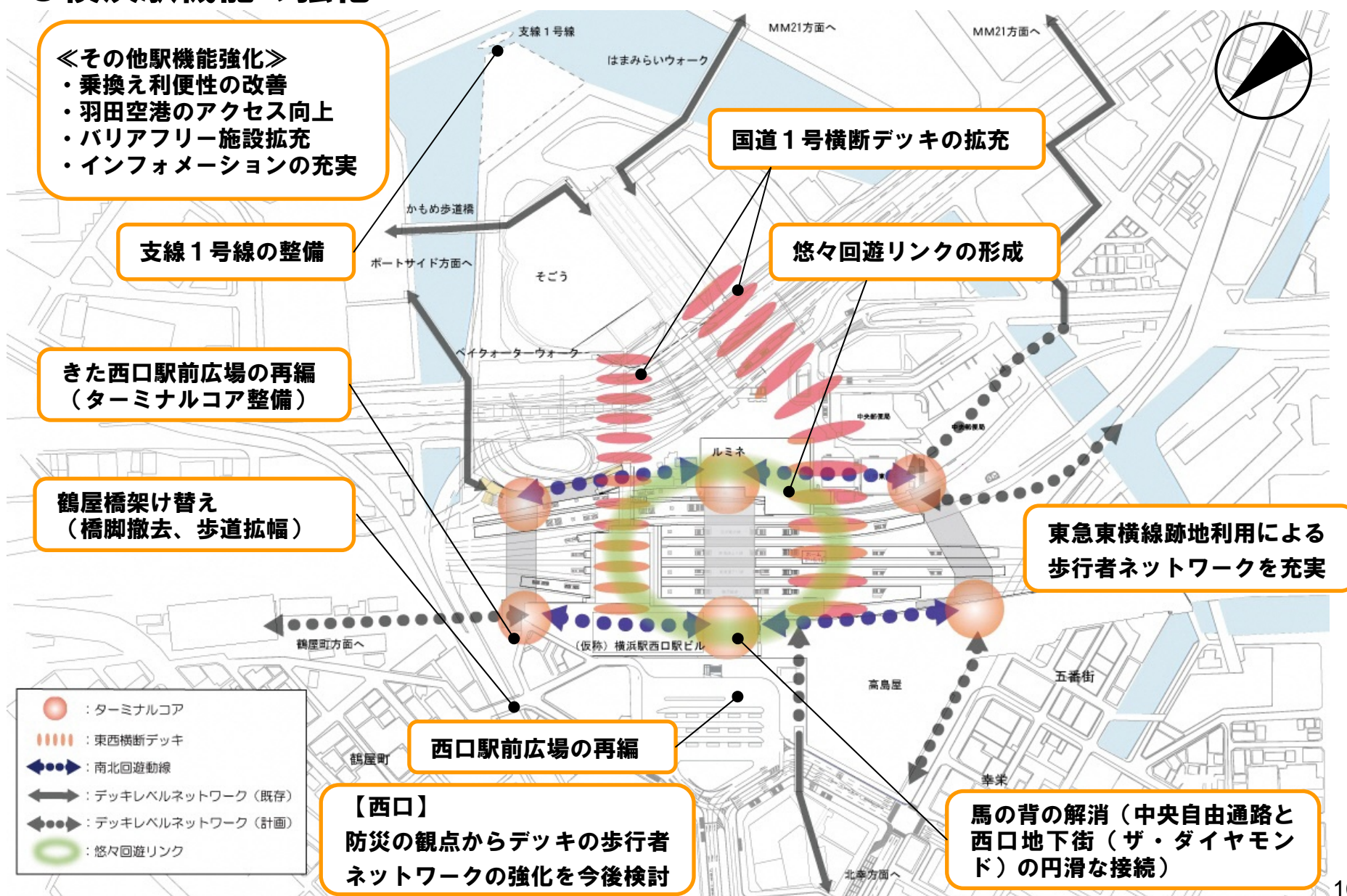
○羽田空港等の運用にあわせた空港アクセスの実現

- ・ 京急蒲田駅改良中（H24年度完成予定）
現状：20分間隔で直通運行（平日は主に日中）
将来：ラッシュ時10分間隔及び終日直通運行

「世界が選ぶ国際交流都市の実現」の取組み1

●横浜駅機能の強化

※イメージ図であり、具体的な位置・規模を示すものではありません。



「世界が選ぶ国際交流都市の実現」の取組み2

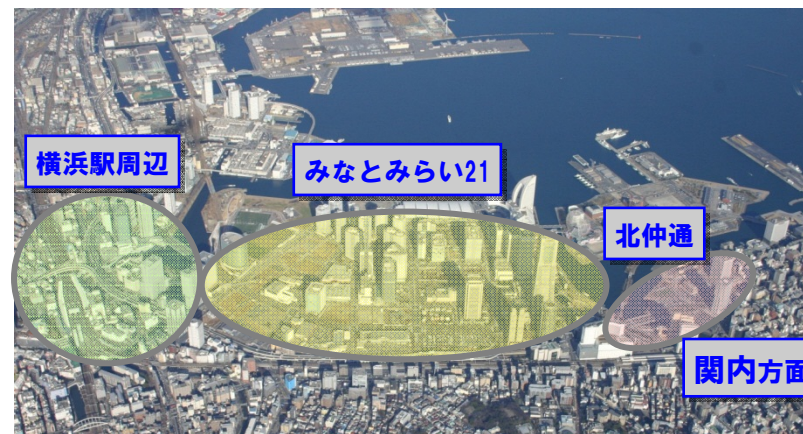
<取組み2> 都心部のMICE施策を活かした機能集積

○パシフィコ横浜を核とした横浜都心部 全体のMICE施策を活かした機能導入

- ・ 国際会議の開催実績があるMICE施設の現状、横浜都心部におけるニーズ把握等

【H24年度の取組み】

- ・ 導入機能の整理、導入方法の検討



< 職・住・遊が一体となって安全安心な
国際交流都市の実現に向けた取組みと情報発信 >

○グローバル企業の誘致

- ・ 企業立地促進条例の改正（H24.4.1施行）
（多国籍企業の本社・研究所の立地促進強化）
- ・ MM21地区内の街区で順次公募を実施

【H24年度の取組み】

- ・ グローバル企業進出を促進するビジネス
支援機能の検討



横浜市 企業誘致トップセミナー 平成24年3月27日開催
「さらなる企業進出をお迎えするために」 横浜市長 林 文子

「世界が選ぶ国際交流都市の実現」の取組み3

＜取組み3＞ 魅力ある都市環境の充実

○水辺を活かした快適で健康的な都市環境、魅力ある都市景観の形成

- ・親水性を感じられる景観形成の検討
- ・浮栈橋の設置

【H24年度の取組み】

- ・浮栈橋を活用した社会実験の実施
- ・クリエイティブシティ等の取組みとの連携

○市民や企業が誇れる環境負荷低減の取組み

- ・地球温暖化対策（CO₂削減）のルール素案の作成
- ・面的エネルギーネットワーク整備の考え方の整理
- ・ヒートアイランド対策のルール素案の作成

【H24年度の取組み】

- ・ルールのガイドラインへの反映

○利便性向上のための生活支援機能の充実

- ・都心部全体における外国人のニーズにも合った生活支援機能の現状調査

【H24年度の取組み】

- ・エキサイトエリアに求められる機能の検討



エキサイトよこはま22 H24年度の取組みについて

3/11東日本大震災

現在

